

なんぶ

<発行>
 南部合唱団
 連絡先: 〒214-0022
 川崎市多摩区堰
 1-22-1-416
 TEL: 044-833-6220

☆「あたらしい憲法のはなし」、
 「日本国憲法第九条」でみやぎ祭典に臨む

今ほど、歌い続けて 価値を感じる時はない！

書記長 大寿美 幸子
 芸術局長 加山 明美

2014年7月1日
 自公与党は、歴代政権の憲法解釈を大転換し、集団的自衛権の行使を容認した閣議決定を行いました。その後の国会論戦のなかでは、自衛隊の活動場所がいつでも戦闘行為の現場になりうる事が明らかになりました。そして19、20日には、重大な事故を繰り返す米海兵隊のMV22オスプレイ2機

が、山口県から北海道まで日本列島を縦断し、途中給油として横田基地に飛来しました。全国訓練の地ならずと思われず。一方23日には、絶滅危惧種ジュゴンが頻りに食の場所としている辺野古で、米海兵隊が上陸訓練を強行。日本中で戦闘準備さながらの行為がすすまられています。・南部合唱団は、「そして一輪の花のほかはより『あたらしい憲法のはなし』、『日本国憲法第9条』」の2曲を持って、うたごえ祭典 in みやぎをめざします。「あたらしい憲法のはなし」は、1947年、当時の文部省が発行した中学1年生用の社会科学教科書の「6 戦争の放棄」というなかの文章です。「6 戦争の放棄」

南部合唱団創立
 55周年記念
 レセプション
 日時：8月23日
 場所：小山台会館

「みなさんの中には、こ

政府によって憲法が変えられようとしています。私たちが憲法を護らなければならぬ時を迎えているのです。

6月に訪れた福島では、仮設住宅の人々や平和大行進との交流で「原発なくせ」の思いをあらたにしました。そして検挙、パージを乗り越え、憲法の研究を続け、日本国憲法の間接的起草者と言われる鈴木安蔵の生誕の家の前で憲法9条を献歌しました。



戦後日本国憲法を手にし、生きるこ

とへの希望、未来を見出した先人たちの感動をほんの少し共有できたと感じました。私たち南部合唱団は、長く憲法を歌い続けてきま

したが、今ほど、歌い続けてきたことの価値を感じる時はありません。団全員の連帯で2曲を歌いあげましょう。今を生きる私たちが、これからは生きた子どもたちに贈りましょう。そして被災した東北の人たち、原発の被害に苦しむ福島の人たちとしっかり手をとり合うために歌いましょう。